

## アプリケーションカタログ トランス油の酸価

関連業界	:	石油化学
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸塩基滴定
関連規格	:	JIS K2501、ASTM D664、ISO 6619

### 1. 概要

トランス油の酸価測定は、「JIS K 2501-2003 石油製品及び潤滑油—中和価試験方法」などに基づいて行います。

試料をトルエン、2-プロパノール及び少量の純水を含む滴定溶媒に溶かし、電位差滴定法により 0.1mol/L 水酸化カリウム・2-プロパノール溶液で滴定します。

滴定曲線上に明確な変曲点を得られない場合は、非水酸性又は非水塩基性緩衝液で得られるメータの読みを終点とします（明確な変曲点を得られる場合は、そちらを採用します）。水酸化カリウム溶液の終点までの滴定量から、酸価を算出します。

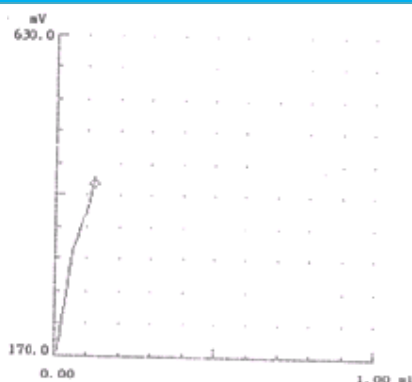
### 2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	pH ガラス電極 スリーブ型比較電極 温度補償電極

### 3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 水酸化カリウム・2-プロパノール溶液
滴定溶媒	:	トルエン、純水、2-プロパノール

### 4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Acid value (mgKOH/g)
1	20.0405	0.1242	0.00194

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>